

第56回試験研究成果発表会（花植木Ⅰ）発表概要

【日時】平成31年1月22日（火）13:30~15:50

【会場】農林総合研究センター 暖地園芸研究所（館山市山本1762）

発表1 成果発表（13:40~14:05）

秋出しトルコギキョウのLED電照による品質向上 —LED電照で切り花長を増加—
野菜・花き研究室 古積 知之

切り花トルコギキョウの秋出し作型では、需要が高いものの、品質が低下しやすいことが問題になっています。これに対してLED電球を用いた、切り花長の増加による品質向上技術を明らかにしました。効果的な電照方法と併せて、品種による注意点、有効な照射範囲等についても紹介します。



左：LED電照処理 右：無処理

発表2 情報提供（14:05~14:25）

LED電照が切り花カーネーションに与える影響

生産環境研究室 大坂 龍

切り花カーネーションの電照栽培は、収穫本数が増加する半面、切り花品質が低下する傾向があります。そこで、品質低下を回避するために夜間の管理温度を変えて、LED電照と組み合わせた試験結果を紹介します。また、切り花カーネーションにおける赤色LEDの日中照射がネギアザミウマに与える影響についても紹介します。



赤色LEDによる日中照射

発表3 情報提供 (14:25~14:45)

花き類におけるハダニ類の薬剤抵抗性について

生産環境研究室 大谷 徹

ナミハダニの殺ダニ剤抵抗性の発達が問題になっています。このため、ナシでは防除暦の剤が大きく変更され、イチゴでは天敵を放飼する方法も普及するようになりました。花き類でも実態の把握と対策が求められています。バラで採集したハダニの殺ダニ剤感受性検定を行い、その結果を紹介します。



検定中のナミハダニ

発表4 情報提供 (15:00~15:20)

夏季におけるトルコギキョウ、ひまわりの日持ち対策の検討

安房農業事務所 大山 康彦

安房地域では、近年、ひまわりやトルコギキョウなどの夏花の栽培が盛んになってきています。夏場の出荷時の温度管理について実証試験を行い、地域に合った出荷方法について検討を行っています。現在までの取組について紹介します。



トルコギキョウ試験の様子

発表5 成果発表 (15:20~15:45)

キンギョソウ新品種の特性と電照栽培技術 — 9月定植で年末出荷をめざそう—
野菜・花き研究室 種谷 光泰

近年、キンギョソウでは有望な新品種が作出されています。カリヨンシリーズ、ファルファレシリーズを中心に新品種の特性を紹介します。また、慣行栽培では育苗・定植時期が7~8月になるため、高温による生育不良もみられます。これに対して育苗を1か月近く遅らせた9月定植でも、電照栽培によって年内から出荷できる方法を紹介します。



キンギョソウ